



2020年6月11日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 三 浦 尚
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 浜 口 和 雄
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

2020年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年3月13日に公表の2020年7月期第2四半期決算短信において未定としていた2020年7月期通期の業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

2020年7月期通期業績予想の修正（2019年8月1日～2020年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	7,800	135	65	185	40.08
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期同期 (2019年7月期)	7,101	△344	△410	△625	△135.51

修正の理由

新型コロナウイルス感染症による操業への影響に関しましては、国内各事業拠点においては、厳重な感染防止対策を実施したうえで、平常時と同水準の操業を維持出来ており、通信向け分野を中心に引き続き積極的な受注活動に努めております。

また、中国子会社では一時的に操業水準が半減していた状況から短時間で平常水準の操業に回復しており、フィリピン子会社においても、直近ではフィリピン政府による移動制限が緩和され、徐々に稼働水準が回復しております。

当期においては、次世代通信規格5G向けを中心に部品需要が拡大する中、前期に決定しました施策を推進するため東北工場に新ラインを建設する等、期初から通信向け分野を中心に積極的な受注活動に努め、現時点での新型コロナウイルス感染症による操業への影響が維持されると想定した

場合、当初業績予想で開示しておりました7,300百万円を上回る見通しであることから、第2四半期決算短信開示時点で未定としていた業績予想を修正いたします。

また、売上高の増加に伴い、各段階利益についても、当初業績予想の各10百万円を上回る見通しであり、未定としていた通期業績予想を修正いたします。

以上